月刊

立川と語ろう　立川に生きよう

えくてびあん

2

<EKUTEBIAN-VOL.2, FEBRUARY 1985-EKUTEBIAN>

まい あーと・たばこペーパークラフト by 谷 美津子

投げますわよッ!

―立川女子ソフトボール名投手烈伝―

柏ウイングス・矢野貴子

球歴6年。「スピードはないし、変化球は投げられないし、強いて言えばコントロールね」

ソフトボールときいて、野球の小じんまりしたものなどと考える人がいたら、認識不足もはなはだしい。

ソフトボールは野球と類似点は多いが、異なる点もまた多いのだ。そしていまや、「ママさんソフト」の輪は大きく拡がりつつある。

ここ立川にも「立川市ソフトボール連盟」(会長・細野績夫氏)に女子チームだけで15チームも集う。今月は女子チームのピッチャーにご登場ねがい、その華麗な投げっぷりをトクとご覧いただこう。あなたは彼女の球を打てるか? それでは――〝投げますわよッ!〟

(敬称略)

アローズ・木村タケ子

高校、実業団できたえた立川きってのエース。球歴20数年。スピードボールが武器という。

チェリーズ・福島八千代

スポーツ一家。自己流と謙遜するがどうしてどうして絶妙のコントロール。

こぶし・五味しのぶ

チームができて半年の「こぶし」が昨秋の立川リーグで優勝、主戦投手で最優秀選手賞に輝いた。

ベアーズ・佐藤春江

インコースへくい込むスピードボールがきまる。高校で2年、主婦になって2年の球歴ならでは。

Ⓐビーバーズ・宮崎恵美子　Ⓑクローバーズ・真家真理子　Ⓒマミーフレンズ・平野美子　Ⓓワイブズ・森田恵子　Ⓔ曙ドンタクス・高橋八重子　Ⓕ幸テイターズ・安倍陽子　Ⓖ大山クイーンズ・鈴木喜美子　Ⓗレディース・ファイアー・日吉洋子。以上のほかにも東京都でも指折りの強豪チーム「グリーンラバーズ」があり、エースピッチャーは千葉良子。

ここまできたら、もうジタバタしないことだ。もてる力を全部だし切ることに精神を集中すればよい。まあ、理屈はそうなのだが……と少しぼやきながら落ち付きをなくしている君に、もってこいのアドバイスをしてもらおう。みんな去年の春、合格の喜びを味わった先輩ばかり。役立つよッ。

加藤彰宏君
(柴崎町2丁目)
工学院大学
浜松西高出身

・問題集をやるなら、新しいものを手がけるのではなく前にやったものの復習にとどめる。
・温度調節しやすいカーディガンを着るとよい。ソックスは厚めに。
・消しゴムを床に落とすと遠くへ転がってしまうので二個用意。
・終了後、答えについてのおしゃべりは気にしない。後にひびく。
・前日から水分をひかえたのは、よかった。

近藤真治君
(昭島市中神町)
上智大学
立川高出身

・前の晩は夕食にとんかつ、当日の弁当もとんかつだった。(合格と関係ないかな?)
・マークシートは解っても解らなくても全部ぬる。
・当日、業者が配っている直前情報は見ない。解らない問題があって動揺するといけないから。
・もし、受験票を忘れてもあわてずに申し出ること。再交付してもらえるからご安心。

中嶋　祐君
(富士見町3丁目)
東京大学
国立高出身

今までやってきたことに自信をもって、迷いを振り切る。一度不安になると、その不安は時と共に大きくなる。逆にひらき直って、

自分はやるだけやったのだという気持で試験にのぞめば案外落ちつくものだ。

四当五落は直前になったら通じない。睡眠は十分にとって体調を整えることが第一。

問題集など今までの本を信じる。

田中伸彦君
(羽衣町2丁目)
東京理科大学
立川高出身

自分の特意な科目に焦点を合わせるのも、直前にはいいのではないか。特意科目をもう一度しっかり勉強して、確実に得点することにつとめる。

季節がらカゼをひきやすいので健康管理にも注意が必要。私の場合はあまり無理をしないで早く寝るようにしていた。おかげで、学校でもいねむりをすることなく授業に集中できた。

萩原昭子さん
(錦町1丁目)
立川高校
立川第三中出身

・問題集を直前に見直すとよい。私の場合、見直した所がたまたま試験に出るというラッキー・ガールでした。
・睡眠は十分にとる。前の日に遅くまで勉強した日は昼寝をして補うくらいにする。
・あがらない工夫の一つとして、

隣りの席の人とお話することにしていた。お友だちになることによって独りの不安が消えます。

石橋健治君
(若葉町2丁目)
立川高校
立川第九中出身

やるだけは、やってきたんだという自信をもつ。ぼくの場合、中学の野球部の主将で、入試直前に先生から志望高を一ランク落とすと言われ猛烈にガンバッタのがよかったと思う。

直前の追い込みは問題集をあきる程に体に覚えさせた。死にものぐるいで、気合いを入れてやれば出来ないことはない、スポーツも勉強も。ガンバレ!

三鴨英之君
(曙町3丁目)
早稲田実業
立川第二中出身

ぼくも中学では野球部のキャプテン。中学二年の時から野球の強い私立高校へと進路を決めていた。野球でくたくたになった体にムチ打って受験勉強した体験は貴重だと思う。

学校では授業をよく聞く。家では問題集をくり返し頭にたたみ込む。学校別の入試問題集で入試傾向を徹底的に研究したのも役立ったと思う。

落ちついて実力を出せ。

えくてびあん豆事典　節分

「福はァ内ィ、鬼はァ外ォ」。節分の豆まきは大人もけっこう楽しそうにやっています。この日のニュースでは、よくお相撲さんやタレントさんが豆まきをしているのを見かけます。

節分というのは「季節の分れる時」という意味で、本来は立春、立夏、立秋、立冬に移る時をすべて節分といったのでした。それがいつの頃からか、もっぱら立春に限っているようです。とくに立春に移る前夜をいい、俗に「年越し」ともいわれています。

豆をまくことは、新しい季節を迎えるにあたって心の中の邪鬼を払い、福をよぶことで俗に豆が「魔滅」に通じるところから、豆を打って鬼の目をつぶし魔を滅することに寄せたとされています。

鬼といいますと、よく赤鬼、青鬼などといいますが、本当は自分の心の中にもいるんですね。

元旦にたてた「一年の計」が早くもくずれそうな人も多いのじゃないでしょうか。そういう人は節分を期に立てかえを計り、一つずつまめに実行していったらどうでしょう。

立川伝言板

このコンサートを迎えると立川に春がくるといわれるほど、おなじみになった。今年は第一部・音楽童話「アトムトラベルふしぎな冒険」第二部・歌と踊り「みんなで歌おう」。ゲストに天地総子、子門真人、しゅうさえこの皆さん。

2月17日3時から。市民会館にて。大人1、500円、小人1、000円。チケットは第一デパート・プレイガイド、または市民会館受付け。

*ホセ・バッソ楽団公演
2月19日6時30分より、民音タンゴシリーズとして。於・市民会館。問い合せ先　03―363―9151　民音予約センター。

*10回目を迎える「ニュースプリングコンサート」が2月17日に

*伊勢丹立川店で婦人ファッション底値市(2月14~18日)
冬物の思わぬ堀り出し物が豊富。同じく21~26日には食料品バーゲンと暮しに生かす道具市が。

*三浦朱門氏(作家)の講演会「これからの生き方・老い方」
充実した老いは「今」を大切に生きることから。では、どのように……?府立二中(現立川高校)のご出身でもある三浦氏のユニークな話をきこう。3月2日、2時から中央公民館にて。

*古典文学講座「芭蕉―その文学と人生」講師・萩原恭男氏
俳聖の一生を代表的名句と共に解説。3月26日まで隔週火曜日午後2時から4時まで、中央公民館。

表紙は語る
たばこペーパークラフト

谷　美津子さんは錦町3丁目で本屋さんとタバコ屋さんをやっているから、このペーパークラフトは〝商売もの〟の一つといえるかも知れない。

キャリアとしては6~7年だが先生に教えてもらう立場から、教える立場にまでウデをあげてきた。生来の器用さに加えて研究熱心な谷さんならではの作品がズラリ。

昨年秋には中央公民館で「金魚」を教えた。TVにも出演。

それにしても、これだけのタバコのあき箱を集めるのは大変でしよう?

「自分でコツコツ集めるほかにも、ひとさまが持ってきて下さる分がずいぶんあるんです。段ボールに入れてあるんですが、くず屋さんみたいに集まってきますよ」

どの箱を使うかがポイントになるのですか?

「そうですね、柄と色を考え合わせてきめてゆくんです。だるまの場合は〝エコー〟がよかったみたい。〝セブンスター〟も使ってみたんですけどね」

デッサンから確実に完成させてゆくクリエーターだ。

えくてびあん鍼

柴崎町2丁目4の19　オネストヴィレッヂ4F　☎28-1179

『健真鍼灸院』では2月の8がつく日(8日、18日、28日)に限って、無料公開治療をおこない、立川の人たちにもっと鍼のよさを知ってもらいたいという。

鍼はこわいものという先入観をもっている人が多いが、治療中の痛みはほとんどないといえる。実際「これならもっと早く来ていればよかった」という方も多い。

肩こりの方、腰痛の方、頭痛の方は特に鍼の効果があるといわれているだけに、この機会に一度「健真鍼灸院」を訪ねてみては?

8日、18日、28日とも午前10時~12時、午後2時から4時の二回。人数の制限があるので、電話予約の要あり。

編集室から

●今月から新しい工房へ引っ越しをさせて頂き、本格的に編集工房としての活動に取り組んでまいります。南口、柴崎町2丁目交差点角にあります〝ファイン ビルディング〟(新築のビルで「東京中央信用金庫」の看板が目安)の3階です。お近くへおこしの節ぜひお立ち寄り下さい。●読者と直接に情報や意見の交換が出来ること、それがシティー・ペーパー(タウン誌)の良さ、面白さだと思います。●受験直前のアドバイスは、昨年の合格者にうかがいました。受験経験ン十年前という方のご意見より、鮮度のあるアドバイスの方が役立てて頂けると思いまして。なにはともあれ、がんばって下さい。●初雪や二の字二の字のえくてびあん

(編集)青木智司　青葉典子　加賀桂子　神山清子　隅川　理　五十嵐りえ　二橋卓治　矢野義範
(写真)天野武男　吉田義治　スタジオ269

真如苑だより

寒さもいよいよ本格的になりました。すっかりおなじみになりました真如苑の精舎参観、今月も暖かい精舎、暖かい気持でお迎えさせて頂きます。お出掛けください。

●日時　2月23日(土)　午後2時から4時まで。
●御本尊、真如宝物館のご案内をはじめ、映画など盛りだくさんの用意がしてございます。
●立川市民(成人)に限らせて頂きます。
●お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌を手渡してくれた人)へ。

月刊えくてびあん　第7号
昭和六十年二月五日　発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市柴崎町2-4-11
ファインビルディング3F
電話　〇四二五(28)〇〇八二
編集人　立井啓介
発行人　沖野嘉男
印刷所　株式会社　立川印刷所

立川駅ビルの中でおこなわれましたチャリティーダンスパーティーに招かれまして踊ったときのスナップです。こんなに多くのダンス愛好家が立川にいるなんて、うれしくなってデモンストレーションにも熱が入りました。私たちはいろいろな幸運に恵まれて'81年から4年間「全日本選手権ラテン部門チャンピオン」ということで踊り続けてきました。私たちのような競技ダンスは技術的にも、運動量としても特殊だと思いますが、普通の社交ダンスが最近、認識をあらたにされだしたということはとってもうれしいことなんです。男性がリードして、女性がフォローする。この無言のコミュニケーションがダンスをするすべての人たちの喜びではないでしょうか。健康には勿論いいですし、あなたも一曲踊りませんか？

ボールルーム ダンサー
石原(いしはら) 久司(ひさし)
由美子(ゆみこ)